

1

NEWS  
無火災への誓いを新たに  
平成22年村消防団出初め式

平成二十二年鮫川村消防団出初め式は一月四日、村公民館で行われ、一年間の無火災を祈願しました。  
式に先立ち、消防車両による村内分列行進で火災予防を呼びかけたあと、通常点検と水勢披露が行われました。  
式には、幹部団員や来賓など約百五十人が出席。無火災祈願の黙とう、団長式辞、村長あいさつに続き、無火災分団（建物火災が三年以上発生していない分団）と優良団員に表彰状が贈られました。



上…通常点検を受ける幹部団員/下…無火災分団の表彰を受ける各分団長

表彰を受けた分団・団員は次のとおりです。  
▼無火災分団表彰：第二分団（赤坂西野・十九年三か月） 第三分団（西山・十七年十か月） 第四分団（渡瀬・十五年四か月） 第七分団（青生野・十一年十か月） 第六分団（富田・七年九か月） 第一分団（赤坂中野・六年〇か月） 第五分団（赤坂東野石井草・三年三か月）  
▼優良団員表彰：芳賀幸一（第一分団） 藤田勝美（第二分団） 田子進市（同） 水野一郎（第三分団） 菊地辰雄（第四分団） 古舘勝人（第五分団） 矢吹仁（同） 棚井正治（第七分団）

3

NEWS  
人権作文コンテストで北條藍子さんが入賞  
鮫川中学校に学校感謝状贈呈



賞状を手にする北條さん（左）と高橋校長（左から2人目）

県人権擁護委員連絡協議会などが主催する「全国中学生人権作文コンテスト福島県大会」で、九百二十二点の応募の中から、北條藍子さん（鮫中三年）が子ども委員長賞を受賞しました。また、五年連続参加の鮫川中学校（高橋顕校長）に学校感謝状が贈呈されました。  
表彰伝達式は十二月二十一日、鮫川中学校校長室で行われ、鈴木正美白河人権擁護委員連絡協議会長から北條さんと高橋校長に賞状が贈られました。

5

NEWS  
きれいに飾れたよ。  
こどもセンターで小正月の「だんごさし」



一生懸命飾り付けをする子どもたち

小正月の伝統行事「だんごさし」は一月十四日、こどもセンターで行われました。  
だんごさしは、東石老人クラブ（中川西春美会長）の会員六人が協力。はじめに千本杵と臼を使って餅つきに挑戦したあと、お年寄りから昔の歌や遊びなどを教えてもらいました。また、小さく切り分けられた色とりどりの餅を水木にきれいに飾りつけ、ついた餅を味わい小正月を祝いました。

2

NEWS  
里山の豊かな自然を満喫  
東京農業大学第61回里山景観保全活動



作業に汗を流す学生ら

東京農業大学の第六十一回里山景観保全活動は、十二月十九日、二十日の二日間、葉貫地内で行われました。  
今回の活動には、首都圏の住民や東京農大生など四十一人が参加。初日は、小林輝男さん（葉貫）に指導を受けながら、炭焼きに使うための木の伐採や炭焼き体験を行いました。その後、同活動で作ったもち米を使い、杵と臼で餅つきを楽しみました。  
二日目は、葉貫地区の住民と共同でアカマツ林の間伐作業に汗を流しました。作業終了後には、そりすべりを楽しみ自然豊かな里山を満喫しました。



そりすべりを楽しむ参加者

4

NEWS  
むし歯のない子は2人  
11月17日実施の3歳児健診



ほし たくま 星 拓馬くん

①赤坂西野字敷／②父・徹さん、母・喜子さん／③毎日、夜の仕上げみがきを徹底的にがんばりました。



すどう はやと 須藤 颯歩くん

①赤坂西野字滝／②父・勝久さん、母・真澄さん／③眠くなってしまったときも、毎日の夜の歯みがきをがんばりました。

①住所／②両親／③お子さんが虫歯にならないためにがんばったこと

十一月十七日に村保健センターで実施した三歳児健診で、むし歯がなかったお子さんは、受診

児七人中二人でした（写真）。  
次回の三歳児健診は、二月二十三日（火）の予定です。

6

NEWS  
文化財を火災から守れ！  
旧赤坂家長屋門（渡瀬区）で火災防御訓練



旧赤坂家長屋門付近で行われた火災防御訓練

文化財防火デー火災防御訓練は一月二十四日、渡瀬字木の根地内「旧赤坂家長屋門」付近で行われました。  
棚倉消防署鮫川分署や村消防団員など関係者約六十人が参加。訓練は「旧赤坂家長屋門付近から出火した」との想定で行われ、防災無線運用や消火訓練が繰り返されました。  
消防団員らは万が一に備えて真剣な表情で訓練に臨んでいました。